

第2回会議からの修正箇所一覧

資料2

項目	訂正箇所	訂正前	訂正後	備考
21 p	目標値の設定脚注	* 白馬村食に関するアンケート	* 令和3年度白馬村食に関するアンケート	

※ 以下の修正後パブリックコメントの実施をいたしました。

項目	訂正箇所	訂正前	訂正後	備考
15 p	学校給食への地場 産品供給状況	表：グラム数表示のみ、並び順等の法則性なし	表：各品目総使用量中のパーセント表示 品目名の表記統一 使用率順に陳列 脚注：表になく、近隣地域での栽培量が少ない ものを注記 (裏面参照)	第2回会議での意見を反映

※ パブリックコメント後の修正等はありません。

(3) 地産地消に関する概況

○ 学校給食への地場産品供給状況（大北管内産農産品）

(単位 kg)

番号	品名	年間供給総量	R2 総使用量	地場産物使用率	提供月	番号	品名	年間供給総量	R2 総使用量	地場産物使用率	提供月
1	米	-	-	100%	通年	22	小松菜	233.3	512	45.6%	通年
2	ミソ	382	382	100%	4-3	23	サツマイモ	114.8	252	45.6%	通年
3	ミニトマト	1939.9	4258 粒	100%	7-12	24	カボチャ	98	215	45.6%	7-12
4	大根葉	6.5	6.5	100%	-	25	ブロッコリー	57	125	45.6%	9-2
5	バジル	0.1	0.1	100%	-	26	カブ	15.5	34	45.6%	11-3
6	凍み大根	3.3	4.4	75.0%	-	27	モロコインゲン	15.5	34	45.6%	7-9
7	春菊	1.4	3	46.7%	11	28	水菜	11.4	25	45.6%	7-12
8	ズッキーニ	4.6	10	46.0%	7	29	菜花	11.3	24.8	45.6%	3
9	オクラ	2.3	5	46.0%	7	30	切り干し大根	4.1	9	45.6%	1-3
10	ニンニク	8.7	19	45.8%	7-3	31	ニガウリ	4.1	9	45.6%	8
11	大豆	1.1	2.4	45.8%	通年	32	ナス	36.4	80	45.5%	7-9
12	ヤーコン	6.4	14	45.7%	11	33	ニラ	30.5	67	45.5%	7-2
13	浸し豆	3.2	7	45.7%	12-1	34	ハウレンソウ	24.1	53	45.5%	7-3
14	キャベツ	840.1	1844	45.6%	通年	35	レタス	18.2	40	45.5%	7-10
15	玉葱	790.5	1735	45.6%	通年	36	ピーマン	9.1	20	45.5%	7-3
16	大根	539	1183	45.6%	通年	37	トマト	5.9	13	45.4%	8-9
17	人参	346.7	761	45.6%	7-3	38	パセリ	5.9	13	45.4%	7-2
18	白菜	328	720	45.6%	7-3	39	インゲン	1.8	4	45.0%	7-8
19	キュウリ	326.2	716	45.6%	通年	40	ミョウガ	1.8	4	45.0%	9
20	ジャガイモ	319.8	702	45.6%	通年	41	モロヘイヤ	1.8	4	45.0%	7
21	ネギ	247.8	544	45.6%	7-3	42	その他		2948.4	-	

(令和2年度実績)

使用総品目	使用総重量	地場産品使用総重量 (大北管内産)	使用総品目における割合 (大北管内産)	使用総品目における割合 (白馬産)
50 品目	13,217kg	6798.19 kg	46%	25%

※ 米、畜産物、調味料（味噌以外）等を除く

注1 前回報告時以降、地場産物は件数で計上しているものの重量での計上はない。

よって、今年度は暫定的に下記の要領で地場産物重量を推認した。

年間使用総重量 × 地場産物使用割合（件数）

注2 令和2年度は約2ヶ月の給食停止期間が存在する。給食提供期間7月～3月。

注3 大北管内のものを地場産として計上している。

注4 保育園については、使用総重量の把握が困難なため、学校給食のみを報告する。

注5 白馬村で栽培できない果物などは県外産が多くを占める。

限られた期間で育てられた農作物を、旬の時期に有効に取り込まれています。